

日本とアジア領域における

マークテックと

エクスロン・インターナショナルとの

協業を深化!

マークテック(株)(本社 東京都大田区大森西4-17-35、☎03-3765-1712、西本圭吾社長)並びにエクスロン・インターナショナル(株)(本社 神奈川県横浜市神奈川区新浦島町1-1-32、☎045-450-1730、中條峰人社長)は、6月21日、24日の4日間、タイ・バンコクのBIITEC(バンコク国際貿易展示場)で開催された「AUTOMOTIVE MANUFACTURING 2017」に共同出展した。

「ATM2017」は、タイで最も総合的な国際自動車・パーツ製造機械・技術展。主催者によると、来場者数は4日間で約8万人が来場し、両社ブースには約100名が訪れるなど盛況を博した。両社は、同展への共同出展を通じて日本並びにアジア領域における戦略的な海外事業展開と更なる協業の深化を図っていききたいとしている。

初めてデモ機として設置し、両社の更なる拡販を目指すとしている。「MU2000-D」は、「ミニフォーカスX線装置」及び「画像処理ソフト」を用いて、アルミダイキャストやアルミ・鉄製の鋳物などの製造工程で発生する、欠陥の検出を安全・迅速・確実に検出することができ

また、タイ・チャチュンサイ県に拠点を置くマークテック・タイランド(株)(市川大介社長)では、エクスロン社製の工業用X線CT検査システム「MU2000-D」を東南アジア圏に

◇ ◇ ◇